

「保護者の学校給食教室」

(令和元年度)

6月26日(水)、総社市清音公民館において倉敷まきび支援学校へ入学する児童・生徒をもつ保護者を中心とした「学校給食教室」を開催しました。

当日、高等部の5名が講師の横山栄養教諭の補佐役についており、昨年の西日本豪雨での被災以降、調理作業の学習ができていなかったため久々の学習の場となったそうです。

献立は「ごはん(玄米入り)」「牛乳」「連島ごぼうとテンペの甘辛」「夏野菜の塩麴和え」「下津井わかめのお吸い物」「わらびもち」でした。

参加者からは「テンペや冷凍豆腐は初めて食べたけどおいしかった」「生徒と一緒にできてよかった。また、このような機会があれば参加したい」等のご感想をいただきました。



